



クラッカーで50周年を盛り上げる若衆

市長の合図で山車祭りがスタート

成田市制施行 50周年 オープニングセレモニー



多くの市民が参加したオープニングセレモニー

市民の熱気と歓声が
表参道をつつむ

16台の山車・屋台が華やかに競演

初夏を思わせる陽気となった4月18日、市制50周年を祝うオープニングセレモニーと成田山車祭り出発式が市役所庁舎前の会場で盛大に開催されました。

この山車祭りは、数多くある市制施行50周年記念事業の中で、市民のみさんの発案によるお祭りです。成田祇園祭に参加する旧成田町内10町のほか、寺台、並木町、台方・下方、宗寄、飯田町、ニュータウン地区など16台の山車や屋台が集結。市内各地で毎年7～9月に行われる夏祭で引かれる山車や屋台の内16台も一堂に会するのは今回が初めて。

午前11時、小林攻市長が市制施行50周年記念のオープニングセレモニーと山車祭りの開催を高らかに宣言。石渡孝春山車祭り実行委員長の笛と小林市長・宇都宮市議会議長の合図により、踊りの競演「総踊り」が始まると、会場を埋め尽くした観客からは歓声が上がります。式典のボルテージは最高潮に。その後、ことしの成田祇園祭の当番町である花崎町を先頭に市役所を出た山車や屋台は、電車道を通り本町から仲町の大坂へ。今回初めてこの坂を上る6台も地元山車や屋台に負けない勢いで駆け上がり、沿道の市民の喝采を浴びました。